

8月4日（木）

講習名	世界情勢を読み解く
担当講師	三須 拓也 地域共創学群教授
講習内容	世界情勢を理解するには、出来事の歴史背景や他の出来事との関連を理解すべきです。この講義では、ニュースの「読み解き方」を学び、世界の様々な出来事が私たちの生活に与える影響について考えます。毎日テレビや新聞のニュースに接しているにも関わらず、世の中の動きがわからない、という方の受講を歓迎します。
主な受講対象者	中学校社会・高等学校地理歴史・高等学校公民教諭

講習名	「日本語の感覚」/「英語の感覚」の違いを踏まえた効果的な英語指導法
担当講師	濱田 英人 地域共創学群教授
講習内容	この講習では私達の母語である日本語と英語を対照的に考察することで英語の母語話者の言語感覚について理解を深め、自然な英語表現について考えます。また、「日本語の感覚」と「英語の感覚」の違いがどこからくるのかを認知言語学、認知科学、脳科学の視点から分かりやすく解説し、英語の母語話者が出来事をどのように捉えて表現するのかについて理解を深め、生徒が「英語の感覚」を身に付け、英語を使いこなせるようになるための効果的なトレーニング方法について考えます。
主な受講対象者	中学校・高等学校英語教諭

講習名	平安文学を学ぶ
担当講師	田中 幹子 地域共創学群教授
講習内容	教科書に載せられた平安文学を歴史的・政治的背景から読解しなおす。国文学研究の観点から、言葉ひとつひとつに注目し、どのような意味が読みとれるかを明らかにする。参加者の反応に応じ、テーマを決め、共同で読解を深めていく形をとりたい。伊勢物語と枕草子を中心に読解し、時間的に可能であれば源氏物語を政治的観点から読みたい。試験は当日の学びを反映した読解をレポートとして時間内にまとめる形をとりたい。
主な受講対象者	中学校・高等学校国語教諭

講習名	柔術から柔道への変遷
担当講師	瀧元 誠樹 地域共創学群教授
講習内容	本講習では、柔道を取りあげて、日本の歴史と伝統によって培われた文化としての柔道とは何か、武芸・武道・BUDOという3つの視点から学ぶ。実技では、「柔よく剛を制す」を体現するための脱力と軸の意義を、柔術から体感していただく。そのため、道衣もしくはジャージの用意してください。
主な受講対象者	中学校・高等学校保健体育教諭

8月5日（金）

講習名	中高の英語授業におけるディスカッションとクリティカル・シンキング(批判的思考)の指導法
担当講師	アラン・ボゼア 地域共創学群教授
講習内容	英語授業に使われるディスカッションの教科書には、生徒があるトピックの文章を読み、それに対する意見を求められる、というパターンが多い。多くの生徒にとっては、語彙や文法が不足しているため、その方法は難しく、端的に言うてつまらない。本講習では、よりインタラクティブにディスカッションとクリティカル・シンキングを指導する方法を学び、生徒たちが意見、論拠、それを支えるアイデアを明確に述べるようなストラテジーやアクティビティを体験する。ここで学ぶ内容は、英語の授業だけではなく、他の教育活動にも応用可能である。
主な受講対象者	中学校・高等学校英語教諭

講習名	国語科授業にアクティブ・ラーニングをどう取り入れるか
担当講師	荒木 奈美 地域共創学群准教授
講習内容	形骸化しないアクティブ・ラーニングの実現のためには、どの教材においても子どもたちが「自分ごと」として教材を捉えることができるような教師の支援が大前提と考えています。①文学教材(小説)を「語り」の視点から捉える ②新聞教材(新聞記事)を書き手の視点から捉える この二つの観点から、生徒たちを支援するための具体的な方策を提案します。
主な受講対象者	中学校・高等学校国語教諭

講習名	特別な支援を必要とする子どもとその保護者支援
担当講師	福井 一之 地域共創学群教授 百井 悦子 地域共創学群教授
講習内容	今日、学校教育において、特別な支援を必要としている児童生徒の存在と支援の必要性については広く認知されてきたが、一人一人の実態に応じた支援については、まだまだ手探りの状況である。特別な支援を必要としている子どもへの支援は、学校の取組だけではなく家庭や関係者等による多面的な支援が必要であるが、中でも保護者との連携がうまくいかないことで苦悩を抱えた担任が多い現状がある。本講習では、発達障害等の特別な支援を必要としている子どもへの支援と共にその保護者への支援の在り方について研修します。
主な受講対象者	特別支援教育に関心のある教諭

8月6日(土)

講習名	QC的問題解決能力とコミュニケーション能力向上を授業に活かす
担当講師	中山 健一郎 地域共創学群教授
講習内容	QC的問題解決手法と発想を学び、生徒のコミュニケーション能力向上とグループ討論学習に活かす取り組みを学ぶ。QC的問題解決手法とは、発生型、探索型、設定型の問題発見能力を鍛えるとともに、アイデア発想法をもとに小グループでのグループ討論を行う。会社就職を目指す生徒のみならず、アクティブラーニングをより実践的に行う上においても役立つ。企業での実践的事例を紹介し、教育現場にもそれを活かすための実習を行う。
主な受講対象者	中学校・高等学校の全教諭